JMA マネジメントスクール

ポカミスがゼロにならないで悩んでいませんか?
「人はミスをする。だからポカミスはなくならない」とあきらめていませんか?

# ポカミスゼロへのアプローチ 実務セミナー

～ 人の脳の機能と限界を把握し、行動と環境を改善することによりポカミスをゼロにする ～

**開催日時**
2025年 7月15日(火) 東京会場
2025年11月11日(火) 東京会場
各回とも 10:00～17:00

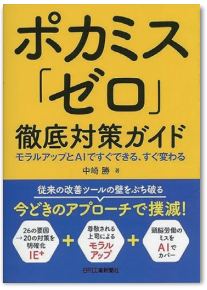
**対象**
- 製造部門の中堅スタッフ
- 品質管理担当者

**講師**
㈱ロンド・アプリウェアサービス
中崎 勝 氏 代表取締役社長
大谷 みさお 氏 標準化専任講師

**参加料(税込)**
法人会員：53,900円/1名
会 員 外：61,600円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

**ポカミスは脳で発生**します。
本アプローチは、ポカミスの発生源である**脳の機能と限界を知り、脳の機能を最大限に発揮させ、限界対策を打つ**ことによりポカミスをゼロにするというアプローチです。
具体的には、**ポカミス教育**を実施し、**4つのお願いと17の行動規制**を教え守ってもらい、その結果として**ポカミスをゼロにします。**
本手法は、25年間、17,213件のポカミスを実際にゼロにした経験則から創られました。従って、スピーディーかつコストミニマムでポカミスを確実にゼロにできます。実際25社のデータによると、年間数百件発生していたポカミスが活動開始後、約3か月でゼロになりました。
仕上げとして、**教育・訓練のしくみの再構築**、現場の人たちが**働きやすい環境の構築**（**やさしさ改善**といいます）をすることによりポカミスゼロ状態を維持します。
「人はミスをする。だから、なくならない」という考え方から「人がミスをする、だから、**人の考え方と行動を変え、働く環境を整えればミスはなくせる**」という考え方に転換し、今お悩みのポカミスを現場にいる方々の意志と行動でゼロにしてください。



『ポカミス「ゼロ」徹底対策ガイド』を進呈!

## ■ プログラム

10:00～17:00 ［昼食］ 12:00～13:00

### 1 ポカミスゼロへのアプローチ
(1)基本的な考え方
- ポカミスとは
- ポカミスは結果
- 脳の機能
- ポカミスの要因は27
- ポカミス対策

(2)知らなかった対策
- 潜在ポカミスの顕在化
- ポカミス教育
- NG/OKシート

(3)標準整備
- 標準の実態
- 標準を整備する
- 教育・訓練のしくみづくり
- なぜ、ルールを守らないのか

(4)うっかり対策
- 集中力マネジメント
- やさしさ改善：自主休憩、体調管理、都合管理、環境改善
- 作業改善：やりにくさの改善、生産に追われない
- 記憶ミス対策
- 始業前点検、整理・整頓、片付け

(5)判断ミス対策
- 判断ミス対策
- 検査作業改善

(6)実際の活動

### 2 標準整備へのアプローチ
(1)標準整備の7ステップ
- 標準整備とは、標準の実態、標準を改善する、標準整備の7ステップ

(2) ステップ概説
- 作業手順の統一、守る意味の明確化、あいまいさ・わかりにくさの解消、限界作業改善

### 3 実践2Sへのアプローチ
(1)ポカミスにおける整理・整頓の意味
(2)作業台上の2S
標準→作業台上のレイアウトの決定→更地化→標準作業との整合性を取る

### 4 ビデオ標準作成へのアプローチ
(1)新たな教育・訓練のしくみづくり
(2)ビデオ標準＋AIアドバイザーで標準順守、多能工化、技能伝承を可能にする
(3)ビデオ標準作成の7ステップ
(4)教育・訓練運用ポイント

### 5 モラルアップへのアプローチ
(1)モラルとは
- モラルとは
- 基本的な考え方

(2)モラルマネジメント
- まず自分がやる気になり、やる意味を教える、適正な目標を与える、成功させる
  ほめる、一緒に考える、マンネリ化対策、やる気のない人への対応

(3)モラルマネジメント
- こんな上司いませんか、尊敬される上司、具体的な言動

(4)まとめ
- 部下のモラルは上司のモラル、人は環境の生き物

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

JMA 経営革新を推進する 一般社団法人日本能率協会

申込・セミナー詳細は JMA152531 検索